

注3

大学番号：私328

[平成29年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

西九州大学短期大学部 地域生活支援学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人永原学園
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

事務局次長 大石 妙子

電話番号 0952-31-3001

（夜間） 0952-31-3001

F A X 0952-31-3003

e-mail shomu-a@nisikyu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

西九州大学短期大学部

	ページ
<地域生活支援学科>	
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人永原学園

(2) 大学名

西九州大学短期大学部

(3) 大学の位置

〒840-0806

佐賀県佐賀市神園三丁目18-15

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フクモト ユウジ) 福元 裕二 (平成20年4月1日)		
学長	(フクモト ユウジ) 福元 裕二 (平成11年4月1日)		
学部長			
学科長等	(クワハラ マサミ) 桑原 雅臣 (平成4年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
地域生活支援学科 短期大学士 (地域生活支援学)	家政関係	2年	100人	年次 人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	()	()	()	()	100人	()	100人	()	()	()	0.70倍	
志願者数	()	()	()	()	76	()	79	()	()	()		
受験者数	()	()	()	()	76	()	79	()	()	()		
合格者数	()	()	()	()	76	()	79	()	()	()		
B 入学者数	()	()	()	()	69	()	71	()	()	()		
入学定員超過率 B/A					0.69		0.71					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	69 [4] ()	— [—] (—)	71 [21] (—)	— [—] (—)	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	67 [4] (—)	— [—] (—)	
3年次			/		/		[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/						/		/
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	69人	2人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	2人	0人	除籍(1人)、家庭の事情(1名)
平成30年度	71人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	140人	2人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{69} = \boxed{2.89} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{71} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<地域生活支援学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	あすなろう	1前	2			4	5	2	1			
	共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ	1通	1			3	5	3	1			
	共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ	2通	1			3	5	3	1			
	あすなろう体験	1通		2			1	1				
	人間心理学	1後		2							1	
	日本国憲法	1前		2							1	
	ボランティア入門	1前		2							1	
	ボランティア活動	1前~2後		2			1		1			
	社会学	1後		2							1	
	経済学	1前		2							1	
	化学(生活の化学)	1後		2			1					
	生命科学	1前		2		1						
	国際文化事情Ⅰ	1後		1		1						
	国際文化事情Ⅱ	2前		2		1						
	外国語科目	総合英語Ⅰ	1前		1		1					1
		英会話Ⅰ	1前		1		1					1
		総合英語Ⅱ	2後		1		1					1
		外書輪講	2前		1		1					1
	保健体育科目	健康スポーツ理論	1前		1							1
健康スポーツ		1通		1							1	
専門教育科目	いのち	公衆衛生学	1後		2							1
		健康福祉概論	1前		2							1
		解剖生理学	1前		2							1
		解剖生理学実験	2後		1						1	1
		生化学	1後		2		2					
		生化学実験	2前		1		1				1	
		病態生理学	1後		2							1
		運動生理学	1後		2							1
		食品学Ⅰ	1前		2			1				
		食品学実験	2後		1			1			1	
		食品学Ⅱ(食品加工学含む)	1後		2			1				
		基礎栄養学	1前		2		1					
		病態栄養学	2前		2							1
		臨床栄養学	2前		2			1				
		臨床栄養学実習	2前		1			1			1	
		栄養学実習	2後		1			1				
		発達と老化の理解Ⅰ	1前		2							1
		発達と老化の理解Ⅱ	1後		2			1				
		認知症の理解Ⅰ	1後		2							1
		認知症の理解Ⅱ	2後		2			1				1
		障害の理解Ⅰ	1後		2							1
		障害の理解Ⅱ	2前		2			1				
		こころとからだのしくみA	1前		2			1				
		こころとからだのしくみB	1後		2							1
		こころとからだのしくみC	1後		2			1				
		こころとからだのしくみD	2後		2			1				
		医療的ケアⅠ	2前		2			1				1
医療的ケアⅡ	2前		2							1		
医療的ケアⅢ	2後		1			1				3		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	あすなろう	1前	2			3	5	2				
	共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ	1通	1			2	5	3	1		2	
	共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ	2通	1			2	5	3	1		1	
	あすなろう体験	1通		2			1	1				
	人間心理学	1後		2							1	
	日本国憲法	1前		2							1	
	ボランティア入門	1前		2							1	
	ボランティア活動	1前~2後		2			1	1	1			
	社会学	1後		2							1	
	経済学	1前		2							1	
	化学(生活の化学)	1後		2			1					
	生命科学	1前		2		1						
	国際文化事情Ⅰ	1後		1		1						
	国際文化事情Ⅱ	2前		2						1		
	外国語科目	総合英語Ⅰ	1前		1						1	
		英会話Ⅰ	1前		1						1	
		総合英語Ⅱ	2後		1						1	
		外書輪講	2前		1		1					
	保健体育科目	健康スポーツ理論	1前		1							1
健康スポーツ		1通		1							1	
専門教育科目	いのち	公衆衛生学	1後		2							1
		健康福祉概論	1前		2							1
		解剖生理学	1前		2							1
		解剖生理学実験	2後		1						1	1
		生化学	1後		2			1				
		生化学実験	2前		1		1				1	
		病態生理学	1後		2							1
		運動生理学	1後		2							1
		食品学Ⅰ	1前		2				1			
		食品学実験	2後		1			1			1	
		食品学Ⅱ(食品加工学含む)	1後		2			1				
		基礎栄養学	1前		2		1					
		病態栄養学	2前		2							1
		臨床栄養学	2前		2			1				
		臨床栄養学実習	2前		1			1			1	
		栄養学実習	2後		1			1				
		発達と老化の理解Ⅰ	1前		2							1
		発達と老化の理解Ⅱ	1後		2			1				
		認知症の理解Ⅰ	1後		2							1
		認知症の理解Ⅱ	2後		2			1				1
		障害の理解Ⅰ	1後		2							1
		障害の理解Ⅱ	2前		2			1				
		こころとからだのしくみA	1前		2			1				
		こころとからだのしくみB	1後		2							1
		こころとからだのしくみC	1後		2			1				
		こころとからだのしくみD	2後		2			1				
		医療的ケアⅠ	2前		2			1				1
医療的ケアⅡ	2前		2							1		
医療的ケアⅢ	2後		1			1				2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	地域生活支援学	1前	2			3	5	2			1	
	地域生活支援演習Ⅰ	1後	1			3	5	3	1			
	地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究)	2通	2			3	5	2	1			
	情報リテラシーⅠ(実習を含む)	1前	2			1		1				
	情報リテラシーⅡ	1後		1		1		1				
	情報リテラシーⅢ	2前		1		1						
	情報リテラシーⅣ	2後		1				1				
	食文化コミュニケーション	2後		1						1		
	プレゼンテーション概論	1前		2		1						
	プレゼンテーション演習	1後		1		1	1					
	応用プレゼンテーション演習	2前		1		1		1				
	ビジネスマナー(演習含む)	1後		2								1
	日本語Ⅰ	1前		1								1
	日本語Ⅱ	1前		1			1					
	日本語Ⅲ	1後		1		1						
	日本語Ⅳ	1後		1			1					
	日本語検定Ⅰ	1後		1								1
	日本語検定Ⅱ	2前		1								1
	中国語	1前		1								1
	韓国語	1後		1								1
	総合英語Ⅲ	2後		1		1						
	英語検定Ⅰ	1後		1		1						
	英語検定Ⅱ	2前		1		1						
	食品衛生学	1前		2			1					
	食品衛生学実験	2前		1						1		1
	栄養指導論Ⅰ	1後		2		1						
	栄養指導論実習Ⅰ	1後		1			1					
	栄養指導論Ⅱ	2前		2		1						
	栄養指導論実習Ⅱ	2後		1			1					
	公衆栄養学	2後		2								1
	調理学	1前		2			1					
	調理実習(日本料理)	1前		1			1				1	
	調理実習(西洋料理)	1後		1			1				1	
	調理実習(中国料理)	2前		1		1					1	
	実践食育	1後		2			1					
	食育演習	2前		1					1			
	創作料理実習	2後		1						1		1
	給食経営管理論	1後		2								1
	給食管理実習Ⅰ	1後~2前		1			1				1	
	給食管理実習Ⅱ	2後		1			1				1	
	給食管理実習Ⅲ	2後		1			1				1	
	スイーツクリエイティブ基礎理論	1後		2								1
	スイーツクリエイティブ基礎実習	2前		1						1		1
	スイーツクリエイティブ応用実習	2後		1						1		1
	社会の理解Ⅰ	1前		2								1
社会の理解Ⅱ	2前		2		1							
介護総合講座	1前~2後		2		1	2	2					
介護の基本ⅠA	1前		2				1					
介護の基本ⅠB	1前		2				1					
介護の基本ⅡA	1後		2							1		
介護の基本ⅡB	2後		2				1					
介護の基本ⅢA	2後		2				1					
介護の基本ⅢB	2後		2			1						
コミュニケーション技術A	1後		1				1					
コミュニケーション技術B	1後		1							2		
生活支援技術A	1前		1			1						
生活支援技術B	1前		2				1					
生活支援技術C	1後		2				1				1	
生活支援技術D	2前		2					1			1	
生活支援技術E	2前		1								1	
生活支援技術F	2後		1				1					
生活支援技術G	2後		1				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	地域生活支援学	1前	2			2	5	2			1	
	地域生活支援演習Ⅰ	1後	1			2	5	4	2			
	地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究)	2通	2			3	5	3	2			
	情報リテラシーⅠ(実習を含む)	1前	2			1		1				
	情報リテラシーⅡ	1後		1		1		1				
	情報リテラシーⅢ	2前		1		1						
	情報リテラシーⅣ	2後		1					1			
	食文化コミュニケーション	2後		1							1	
	プレゼンテーション概論	1前		2		1			1			
	プレゼンテーション演習	1後		1		1			1			
	応用プレゼンテーション演習	2前		1		1			1			
	ビジネスマナー(演習含む)	1後		2								1
	日本語Ⅰ	1前		1								1
	日本語Ⅱ	1前		1			1					
	日本語Ⅲ	1後		1		1						
	日本語Ⅳ	1後		1			1					
	日本語検定Ⅰ	1後		1								1
	日本語検定Ⅱ	2前		1								1
	中国語	1前		1								1
	韓国語	1後		1								1
	総合英語Ⅲ	2後		1							1	
	英語検定Ⅰ	1後		1							1	
	英語検定Ⅱ	2前		1							1	
	食品衛生学	1前		2				1				
	食品衛生学実験	2前		1							1	1
	栄養指導論Ⅰ	1後		2					1			
	栄養指導論実習Ⅰ	1後		1				1				
	栄養指導論Ⅱ	2前		2					1			
	栄養指導論実習Ⅱ	2後		1					1			
	公衆栄養学	2後		2								1
	調理学	1前		2				1				
	調理実習(日本料理)	1前		1				1				1
	調理実習(西洋料理)	1後		1				1				1
	調理実習(中国料理)	2前		1					1			1
	実践食育	1後		2				1				
	食育演習	2前		1								1
	創作料理実習	2後		1							1	1
	給食経営管理論	1後		2					1			
	給食管理実習Ⅰ	1後~2前		1				1			1	
	給食管理実習Ⅱ	2後		1				1			1	
	給食管理実習Ⅲ	2後		1				1			1	
	スイーツクリエイティブ基礎理論	1後		2								1
	スイーツクリエイティブ基礎実習	2前		1							1	1
	スイーツクリエイティブ応用実習	2後		1							1	1
	社会の理解Ⅰ	1前		2								1
社会の理解Ⅱ	2前		2		1							
介護総合講座	1前~2後		2		1	2	2					
介護の基本ⅠA	1前		2					1				
介護の基本ⅠB	1前		2					1				
介護の基本ⅡA	1後		2					1				
介護の基本ⅡB	2後		2						1			
介護の基本ⅢA	2後		2						1			
介護の基本ⅢB	2後		2			1						
コミュニケーション技術A	1後		1						1			
コミュニケーション技術B	1後		1								2	
生活支援技術A	1前		1			1						
生活支援技術B	1前		2						1			
生活支援技術C	1後		2						1		1	
生活支援技術D	2前		2								1	
生活支援技術E	2前		1								1	
生活支援技術F	2後		1						1			
生活支援技術G	2後		1						1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	介護過程Ⅰ	1前		1				1			5
	介護過程Ⅱ	1後		1			1				
	介護過程Ⅲ	2通		2				1			
	介護過程Ⅳ	2後		1		1					
	介護総合演習Ⅰ	1前		1			1				
	介護総合演習Ⅱ	1後		1			1				
	介護総合演習Ⅲ	2前		1				1			
	介護総合演習Ⅳ	2後		1				1			
	介護実習ⅠA	1前		3		1	2	2			
	介護実習ⅠB	1前		3		1	2	2			
	介護実習Ⅱ	2前		4		1	2	2			
	海外食文化研修	1前~2後		1			3				1
	ライフステージ別栄養学	2前		2			1				
	ライフステージ別栄養学実習	2前		1			1				
	佐賀学	1後		2							
	ホスピタリティ心理学	2前		2							
	ホスピタリティ概論	1後		2							
	おもてなし演習	1後		1							
	日本文化理解	1後		2							
	日本文化事情Ⅰ(演習含む)	1前		2				1			
日本文化事情Ⅱ	2前		2			1					
海外文化事情Ⅰ(演習含む)	1後		2								
海外文化事情Ⅱ	2後		2		1						
観光概論	2後		2								
旅行業務	2後		2								
ホテルビジネス論	2後		2								
観光ビジネス論	2後		2								
企業インターンシップ	2後		2			2					
リラクゼーション	2後		1			1					
人間の尊厳と自立	1後		2		1						
人間関係とコミュニケーション	1前		2		1						
レクリエーション活動援助法Ⅰ	1後		1		1						
レクリエーション活動援助法Ⅱ	2前		1		1						
介護予防支援学	2後		2		1	1					
レクリエーション概論	1前		2								
レクリエーション実習	1前~2後		2		1						
福祉レクリエーション論	2前		2								
福祉レクリエーション援助論	2後		2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	介護過程Ⅰ	1前		1							5
	介護過程Ⅱ	1後		1			1				
	介護過程Ⅲ	2通		2					1		
	介護過程Ⅳ	2後		1			1				
	介護総合演習Ⅰ	1前		1			1				
	介護総合演習Ⅱ	1後		1			1				
	介護総合演習Ⅲ	2前		1					1		
	介護総合演習Ⅳ	2後		1					1		
	介護実習ⅠA	1前		3			2	2			
	介護実習ⅠB	1前		3			2	2			
	介護実習Ⅱ	2前		4			2	2			
	海外食文化研修	1前~2後		1				2			1
	ライフステージ別栄養学	2前		2							
	ライフステージ別栄養学実習	2前		1						1	
	佐賀学	1後		2							
	ホスピタリティ心理学	2前		2							
	ホスピタリティ概論	1後		2							
	おもてなし演習	1後		1							
	日本文化理解	1後		2							
	日本文化事情Ⅰ(演習含む)	1前		2				1			
日本文化事情Ⅱ	2前		2				1				
海外文化事情Ⅰ(演習含む)	1後		2								
海外文化事情Ⅱ	2後		2			1					
観光概論	2後		2								
旅行業務	2後		2								
ホテルビジネス論	2後		2								
観光ビジネス論	2後		2								
企業インターンシップ	2後		2				2				
リラクゼーション	2後		1				1				
人間の尊厳と自立	1後		2			1					
人間関係とコミュニケーション	1前		2			1					
レクリエーション活動援助法Ⅰ	1後		1			1					
レクリエーション活動援助法Ⅱ	2前		1			1					
介護予防支援学	2後		2				2	2			
レクリエーション概論	1前		2								
レクリエーション実習	1前~2後		2				1				
福祉レクリエーション論	2前		2								
福祉レクリエーション援助論	2後		2								

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	あすなろう	1前	2			4	5	2					
	共に学ぶあすなろう（キャリア）Ⅰ	1通	1			3	5	3	1			1	
	共に学ぶあすなろう（キャリア）Ⅱ	2通	1			3	5	3	1				
	あすなろう体験	1通		2			1	1					
	人間心理学	1後		2								1	
	日本国憲法	1前		2								1	
	ボランティア入門	1前		2								1	
	ボランティア活動	1前~2後		2		1	1						
	社会学	1後		2								1	
	経済学	1前		2								1	
	化学（生活の化学）	1後		2			1						
	生命科学	1前		2		1							
	国際文化事情Ⅰ	1後		1						1			
	国際文化事情Ⅱ	2前		2		1							
	外国語科目	総合英語Ⅰ	1前		1		1						
		英会話Ⅰ	1前		1		1						1
		総合英語Ⅱ	2後		1		1						
		外書輪講	2前		1		1						
	保健体育科目	健康スポーツ理論	1前		1								1
		健康スポーツ	1通		1								1
専門教育科目	いのち	公衆衛生学	1後		2								1
		健康福祉概論	1前		2								1
		解剖生理学	1前		2								1
		解剖生理学実験	2後		1						1		1
		生化学	1後		2		1						
		生化学実験	2前		1		1				1		
		病態生理学	1後		2								1
		運動生理学	1後		2								1
		食品学Ⅰ	1前		2			1					
		食品学実験	2後		1			1			1		
		食品学Ⅱ（食品加工学含む）	1後		2			1					
		基礎栄養学	1前		2		1						
		病態栄養学	2前		2								1
		臨床栄養学	2前		2			1					
		臨床栄養学実習	2前		1			1			1		
		栄養学実習	2後		1			1					
		発達と老化の理解Ⅰ	1前		2								1
		発達と老化の理解Ⅱ	1後		2			1					
		認知症の理解Ⅰ	1後		2								1
		認知症の理解Ⅱ	2後		2			1					1
		障害の理解Ⅰ	1後		2								1
		障害の理解Ⅱ	2前		2			1					
		こころとからだのしくみA	1前		2			1					
		こころとからだのしくみB	1後		2								1
		こころとからだのしくみC	1後		2			1					
		こころとからだのしくみD	2後		2			1					
		医療的ケアⅠ	2前		2			1					
医療的ケアⅡ	2前		2								1		
医療的ケアⅢ	2後		1			1					3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	地域生活支援学	1前	2			3	5	2				1
	地域生活支援演習Ⅰ	1後	1			3	5	3	1			
	地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究)	2通	2			3	5	2	1			
	情報リテラシーⅠ(実習を含む)	1前	2			1		1				
	情報リテラシーⅡ	1後		1		1		1				
	情報リテラシーⅢ	2前		1		1						
	情報リテラシーⅣ	2後		1				1				
	食文化コミュニケーション	2後		1						1		
	プレゼンテーション概論	1前		2		1						
	プレゼンテーション演習	1後		1		1	1					
	応用プレゼンテーション演習	2前		1		1		1				
	ビジネスマナー(演習含む)	1後		2								1
	日本語Ⅰ	1前		1								1
	日本語Ⅱ	1前		1				1				
	日本語Ⅲ	1後		1		1						
	日本語Ⅳ	1後		1				1				
	日本語検定Ⅰ	1後		1								1
	日本語検定Ⅱ	2前		1								1
	中国語	1前		1								1
	韓国語	1後		1								1
	総合英語Ⅲ	2後		1		1						
	英語検定Ⅰ	1後		1						1		
	英語検定Ⅱ	2前		1		1						
	食品衛生学	1前		2				1				
	食品衛生学実験	2前		1							1	1
	栄養指導論Ⅰ	1後		2		1						
	栄養指導論実習Ⅰ	1後		1				1				
	栄養指導論Ⅱ	2前		2		1						
	栄養指導論実習Ⅱ	2後		1				1				
	公衆栄養学	2後		2								1
	調理学	1前		2				1				
	調理実習(日本料理)	1前		1				1			1	
	調理実習(西洋料理)	1後		1				1			1	
	調理実習(中国料理)	2前		1		1					1	
	実践食育	1後		2				1				
	食育演習	2前		1						1		
	創作料理実習	2後		1							1	1
	給食経営管理論	1後		2								1
	給食管理実習Ⅰ	1後~2前		1				1			1	
	給食管理実習Ⅱ	2後		1				1			1	
	給食管理実習Ⅲ	2後		1				1			1	
	スイーツクリエイティブ基礎理論	1後		2								1
	スイーツクリエイティブ基礎実習	2前		1							1	1
	スイーツクリエイティブ応用実習	2後		1							1	1
	社会の理解Ⅰ	1前		2								1
	社会の理解Ⅱ	2前		2		1						
	介護総合講座	1前~2後		2		1	2	2				
	介護の基本ⅠA	1前		2				1				
	介護の基本ⅠB	1前		2				1				
	介護の基本ⅡA	1後		2				1				
介護の基本ⅡB	2後		2				1					
介護の基本ⅢA	2後		2				1					
介護の基本ⅢB	2後		2			1						
コミュニケーション技術A	1後		1				1					
コミュニケーション技術B	1後		1								2	
生活支援技術A	1前		1				1					
生活支援技術B	1前		2				1					
生活支援技術C	1後		2				1				1	
生活支援技術D	2前		2						1			
生活支援技術E	2前		1								1	
生活支援技術F	2後		1				1					
生活支援技術G	2後		1				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	くらし	介護過程Ⅰ	1前	1				1				5
		介護過程Ⅱ	1後	1			1					
		介護過程Ⅲ	2通	2					1			
		介護過程Ⅳ	2後	1		1						
		介護総合演習Ⅰ	1前	1			1					
		介護総合演習Ⅱ	1後	1			1					
		介護総合演習Ⅲ	2前	1					1			
		介護総合演習Ⅳ	2後	1					1			
		介護実習ⅠA	1前	3			1	2	2			
		介護実習ⅠB	1前	3			1	2	2			
		介護実習Ⅱ	2前	4			1	2	2			
	人生	海外食文化研修	1前~2後	1				3				1
		ライフステージ別栄養学	2前	2				1				
		ライフステージ別栄養学実習	2前	1				1			1	
		佐賀学	1後	2								
		ホスピタリティ心理学	2前	2								
		ホスピタリティ概論	1後	2							1	
		おもてなし演習	1後	1							1	
		日本文化理解	1後	2							1	
		日本文化事情Ⅰ(演習含む)	1前	2				1				
		日本文化事情Ⅱ	2前	2				1				
		海外文化事情Ⅰ(演習含む)	1後	2							1	
		海外文化事情Ⅱ	2後	2		1						
		観光概論	2後	2							1	
		旅行業務	2後	2							1	
		ホテルビジネス論	2後	2							1	
		観光ビジネス論	2後	2							1	
企業インターンシップ	2後	2				2						
リラクゼーション	2後	1				1						
人間の尊厳と自立	1後	2			1							
人間関係とコミュニケーション	1前	2			1							
レクリエーション活動援助法Ⅰ	1後	1			1				1			
レクリエーション活動援助法Ⅱ	2前	1			1				1			
介護予防支援学	2後	2			1	1			4			
レクリエーション概論	1前	2							1			
レクリエーション実習	1前~2後	2			1							
福祉レクリエーション論	2前	2							1			
福祉レクリエーション援助論	2後	2							1			

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・産前産後休暇及び育児休暇により、「あすなろう」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・産前産後休暇及び育児休暇、専任教員の採用、科目運用上の理由により、「共に学ぶあすなろう（キャリアⅠ）」の専任教員等の配置を「助教1」の担当教員を変更及び「兼任0」から「兼任1」に変更。
- ・科目担当者の辞退により、「日本国憲法」の「兼任1」の担当教員変更。
- ・産前産後休暇及び育児休暇により、「ボランティア活動」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員（語学系）の採用により、「国際文化事情Ⅰ」の専任教員等配置の「教授1」から「助教1」に変更。
- ・科目運用上の理由により、「生化学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・産前産後休暇及び育児休暇、専任教員の採用により、「地域生活支援演習Ⅰ」の専任教員等の配置「助教1」の担当教員を変更。
- ・専任教員（語学系）の採用により、「英語検定Ⅰ」の専任教員等配置の「教授1」から「助教1」に変更。
- ・異動により、「介護の基本ⅡA」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・科目担当者の辞退により、「ホスピタリティ概論」の「兼任1」の担当教員を変更。
- ・科目担当者の辞退により、「おもてなし演習」の「兼任1」の担当教員を変更。
- ・産前産後休暇及び育児休暇により、「日本文化事情Ⅰ（演習含む）」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。

【平成30年度】

- ・雇用形態変更により「あすなろう」の専任教員の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・育児休暇修了、雇用形態変更、科目運用上の理由により、「共に学ぶあすなろう（キャリアⅠ）」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「助教0」から「助教1」、「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・雇用形態変更及び科目運用上の理由により、「共に学ぶあすなろう（キャリアⅡ）」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「兼任0」から「兼任1」に変更。
- ・育児休暇修了及び専任教員の採用により、「ボランティア活動」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」「助教1」に変更。
- ・担当者辞退により、「社会学」の「兼任1」の担当教員を変更予定。
- ・科目運用上の理由により、「国際文化事情Ⅰ」の専任教員等配置の「助教1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員（語学系）の採用により、「国際文化事情Ⅱ」の専任教員等配置の「教授1」から「助教1」に変更。
- ・専任教員（語学系）の採用により、「総合英語Ⅰ」の専任教員等配置の「教授1」から「助教1」に変更。
- ・専任教員（語学系）の採用により、「英会話Ⅰ」の専任教員等配置の「教授1」から「助教1」に変更。
- ・専任教員（語学系）の採用により、「総合英語Ⅱ」の専任教員等配置の「教授1」から「助教1」に変更。
- ・異動により、「認知症の理解Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任0」に変更。
- ・科目担当者の辞退により、「医療的ケアⅢ」の「兼任3」から「兼任2」に変更。
- ・雇用形態変更及び科目担当者の辞退により、「地域生活支援学」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「助教0」から「助教1」、「兼任1」から「兼任0」に変更。
- ・育児休暇修了、専任教員の採用及び雇用形態変更により、「地域生活支援演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「講師3」から「講師4」、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・専任教員の採用により、「地域生活支援演習Ⅱ（卒業研究）」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・専任教員（情報系）の採用により、「プレゼンテーション概論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・専任教員（情報系）の採用により、「プレゼンテーション演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・専任教員（情報系）の採用により、「応用プレゼンテーション」の専任教員等の配置「講師1」の担当教員を変更。
- ・専任教員（語学系）の採用により、「総合英語Ⅲ」の専任教員等配置の「教授1」から「助教1」に変更。
- ・専任教員（語学系）の採用により、「英語検定Ⅱ」の専任教員等配置の「教授1」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の退職により、「栄養指導論Ⅰ」の専任教員配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の退職により、「栄養指導論Ⅱ」の専任教員配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の退職により、「調理実習（中国料理）」の専任教員配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・育児休暇により、「食育演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任1」に変更。
- ・科目担当者の辞退により、「給食経営管理論」の「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・育児休暇により、「生活支援技術D」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任1」に変更。
- ・科目担当者の辞退により、「介護課程Ⅲ」の「兼任1」の担当教員を変更。
- ・雇用形態変更により、「介護実習ⅠA」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・雇用形態変更により、「介護実習ⅠB」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・雇用形態変更により、「介護実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・科目運用上の理由により、「海外食文化研修」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・科目運用上の理由により、「ライフステージ別栄養学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・科目運用上の理由により、「ライフステージ別栄養学実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・届出時科目担当者の復帰により、「ホスピタリティ概論」の「兼任1」の担当教員を変更。
- ・届出時科目担当者の復帰により、「おもてなし演習」の「兼任1」の担当教員を変更。
- ・雇用形態変更により、「介護予防支援学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授1」から「准教授2」、「講師0」から「講師2」に変更。
- ・科目担当者の辞退により、「レクリエーション概論」の「兼任1」の担当教員を変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	142 科目	0 科目	149 科目	7 科目 [0]	142 科目 [0]	0 科目 [0]	149 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{149} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	0 m ²	14,833 m ²	0 m ²	14,833 m ²			
	運動場用地	0 m ²	8,264 m ²	0 m ²	8,264 m ²			
	小 計	0 m ²	23,097 m ²	0 m ²	23,097 m ²			
	そ の 他	0 m ²	3,336 m ²	0 m ²	3,336 m ²			
	合 計	0 m ²	26,433 m ²	0 m ²	26,433 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	2,896.27 m ² (2,896.27 m ²)	12,757.34 m ² (12,757.34 m ²)	587 m ² (587 m ²)	16,240.61 m ² (16,240.61 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	22室	29室	7室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			<small>・平成29年10月 専任助教1名新規採用のため(30)</small> <small>・平成30年3月 専任教授1名退職のため(30)</small> <small>・平成30年4月 専任講師1名を新規採用のため(30)</small>		
	地域生活支援学科		16 -5 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	注)平成30年5月1日現在の数値を記載との指示により改めて記載した(30)
	地域生活支援学科	42,364 [1,827] (41,910 [1,819]) -(41,361 [1,817])	38 [1] (36 [1]) -(35 [1])	1 [1] (1 [1])	1,711 1,791 -(1,726)	()	()	
	計	42,364 [1,827] (41,910 [1,819]) -(41,361 [1,817])	38 [1] (36 [1]) -(35 [1])	1 [1] (1 [1])	1,711 1,791 -(1,726)	()	()	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	556.60m ²	109席		60,000冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	995 m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	120千円	120千円	図書購入費	1500千円	2200千円	2,200千円
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	300千円	200千円	200千円
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,100千円	910千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学等の名称	西九州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
大学院									
生活支援科学研究科									
健康栄養学専攻	2	2	—	4	修士 <small>(健康栄養学)</small>	0.25	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
地域生活支援学専攻	2	5	—	10	修士 <small>(生活支援学)</small>	1.30	平成27年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
臨床心理学専攻	2	4	—	8	修士 <small>(臨床心理学)</small>	1.37	平成26年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
リハビリテーション学専攻	2	3	—	6	修士 <small>(リハビリテーション学)</small>	1.49	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
子ども学専攻	2	4	—	8	修士 <small>(子ども学)</small>	0.50	平成27年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
地域生活支援学専攻	3	3	—	9	博士 <small>(生活支援学)</small>	0.77	平成27年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
健康栄養学部									
健康栄養学科	4	120	—	480	学士 <small>(健康栄養学)</small>	0.93	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
健康福祉学部									
社会福祉学科	4	80	3年次10人	340	学士 <small>(社会福祉学)</small>	0.63	昭和49年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
スポーツ健康福祉学	4	50	—	200	学士 <small>(スポーツ健康福祉学)</small>	0.99	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
リハビリテーション学部									
リハビリテーション学科									
理学療法学専攻	4	40	—	160	学士 <small>(理学療法学)</small>	1.11	平成19年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
作業療法学専攻	4	40	—	160	学士 <small>(作業療法学)</small>	0.95	平成19年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
子ども学部									
子ども学科	4	80	3年次10人	340	学士 <small>(子ども学)</small>	1.05	平成21年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
心理カウンセリング学科	4	40	—	160	学士 <small>(臨床心理学)</small>	1.13	平成26年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
看護学部									
看護学科	4	90	—	360	学士 <small>(看護学)</small>	1.04	平成30年度	佐賀県小城市小城町176-27	
大学等の名称	西九州大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
地域生活支援学科	2	100	—	100	短期大学士 <small>(地域生活支援学)</small>	0.70	平成29年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
幼児保育学科	2	90	—	180	短期大学士 <small>(保育学)</small>	1.05	昭和40年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	

平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
- ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・ AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<地域生活支援学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	福元 裕二 (67) <平成29年4月> あすなろう 生化学※
専	教授	桑原 雅臣 (65) <平成29年4月> あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 情報リテラシーⅠ(実習を含む) 情報リテラシーⅡ 情報リテラシーⅢ プレゼンテーション概論 プレゼンテーション演習 応用プレゼンテーション演習
専	教授	鍋島 恵美子 (67) <平成29年4月> あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 社会の理解Ⅱ 介護総合講座 介護過程Ⅳ 人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーション レクリエーション活動援助法Ⅰ レクリエーション活動援助法Ⅱ 介護予防支援学※ レクリエーション実習 介護実習ⅠA 介護実習ⅠB 介護実習Ⅱ
専	教授	西河 貞捷 (71) <平成29年4月> 国際文化事情Ⅰ 国際文化事情Ⅱ 総合英語Ⅰ 英会話Ⅰ 総合英語Ⅱ 外書輪講 日本語Ⅲ 総合英語Ⅲ 英語検定Ⅰ 英語検定Ⅱ

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	福元 裕二 (67) <平成29年4月> あすなろう
専	教授	桑原 雅臣 (65) <平成29年4月> あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 情報リテラシーⅠ(実習を含む) 情報リテラシーⅡ 情報リテラシーⅢ プレゼンテーション概論 プレゼンテーション演習 応用プレゼンテーション演習 ボランティア活動
専	教授	鍋島 恵美子 (67) <平成29年4月> あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 社会の理解Ⅱ 介護総合講座 介護過程Ⅳ 人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーション レクリエーション活動援助法Ⅰ レクリエーション活動援助法Ⅱ 介護予防支援学※ レクリエーション実習 介護実習ⅠA 介護実習ⅠB 介護実習Ⅱ
専	教授	西河 貞捷 (71) <平成29年4月> 国際文化事情Ⅱ 総合英語Ⅰ 英会話Ⅰ 総合英語Ⅱ 外書輪講 日本語Ⅲ 総合英語Ⅲ 英語検定Ⅱ

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	福元 裕二 (68) <平成29年4月> あすなろう
専	教授	桑原 雅臣 (66) <平成29年4月> あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 情報リテラシーⅠ(実習を含む) 情報リテラシーⅡ 情報リテラシーⅢ プレゼンテーション概論 プレゼンテーション演習 応用プレゼンテーション演習
専	教授	鍋島 恵美子 (68) <平成29年4月> 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 社会の理解Ⅱ 介護総合講座 介護過程Ⅳ 人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーション レクリエーション活動援助法Ⅰ レクリエーション活動援助法Ⅱ レクリエーション実習
専	教授	西河 貞捷 (72) <平成29年4月> 国際文化事情Ⅰ 外書輪講 日本語Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専	教授	平田 孝治 (50) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 生命科学 生化学※ 生化学実験 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 基礎栄養学 海外文化事情Ⅱ
専	教授	成清 ヨシエ (74) 〈平成29年4月〉
		栄養指導論Ⅰ 栄養指導論Ⅱ 調理実習(中国料理)
専	准教授	田中 知恵 (48) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ あすなろう体験 化学(生活の化学) 食品学Ⅰ 食品学実験 食品学Ⅱ(食品加工学を含む) 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) プレゼンテーション演習 日本語Ⅱ 食品衛生学 海外食文化研修 日本文化事情Ⅱ 企業インターンシップ
専	准教授	西岡 征子 (56) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ ライフステージ別栄養学 ライフステージ別栄養学実習 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 栄養指導論実習Ⅰ 調理学 調理実習(日本料理) 調理実習(西洋料理) 給食管理実習Ⅱ 給食管理実習Ⅲ 海外食文化研修

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専	教授	平田 孝治 (50) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 生命科学 生化学 生化学実験 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 基礎栄養学 海外文化事情Ⅱ
専	教授	成清 ヨシエ (75) 〈平成29年4月〉
		栄養指導論Ⅰ 栄養指導論Ⅱ 調理実習(中国料理)
専	准教授	田中 知恵 (48) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ あすなろう体験 化学(生活の化学) 食品学Ⅰ 食品学実験 食品学Ⅱ(食品加工学を含む) 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) プレゼンテーション演習 日本語Ⅱ 食品衛生学 海外食文化研修 日本文化事情Ⅱ 企業インターンシップ
専	准教授	西岡 征子 (56) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ ライフステージ別栄養学 ライフステージ別栄養学実習 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 栄養指導論実習Ⅰ 調理学 調理実習(日本料理) 調理実習(西洋料理) 給食管理実習Ⅱ 給食管理実習Ⅲ 海外食文化研修

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専	教授	平田 孝治 (51) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 生命科学 生化学 生化学実験 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 基礎栄養学 海外文化事情Ⅱ
専	准教授	田中 知恵 (49) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ あすなろう体験 化学(生活の化学) 食品学Ⅰ 食品学実験 食品学Ⅱ(食品加工学を含む) 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 日本語Ⅱ 食品衛生学 日本文化事情Ⅱ 企業インターンシップ
専	准教授	西岡 征子 (57) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 栄養指導論実習Ⅰ 調理学 調理実習(日本料理) 調理実習(西洋料理) 給食管理実習Ⅱ 給食管理実習Ⅲ 海外食文化研修 栄養指導論Ⅰ 栄養指導論Ⅱ 調理実習(中国料理)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専	准教授	武富 和美 (43) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 臨床栄養学 臨床栄養学実習 栄養学実習 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 日本語Ⅳ 栄養指導論実習Ⅱ 実践食育 給食管理実習Ⅰ 海外食文化研修
専	准教授	馬場 由美子 (46) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) ボランティア活動 介護過程Ⅱ 介護の基本ⅢB 生活支援技術A 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護実習ⅠA 介護実習ⅠB 介護実習Ⅱ 介護総合講座 介護予防支援学※ 認知症の理解Ⅱ※ 企業インターンシップ リラクゼーション
専	准教授	吉村 浩美 (56) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 発達と老化の理解Ⅱ 障害の理解Ⅱ こころとからだのしくみA こころとからだのしくみC こころとからだのしくみD 医療的ケアⅠ 医療的ケアⅢ 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 生活支援技術G 介護総合講座 介護実習ⅠA 介護実習ⅠB 介護実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専	准教授	武富 和美 (43) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 臨床栄養学 臨床栄養学実習 栄養学実習 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 日本語Ⅳ 栄養指導論実習Ⅱ 実践食育 給食管理実習Ⅰ 海外食文化研修
専	准教授	馬場 由美子 (46) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) ボランティア活動 介護過程Ⅱ 介護の基本ⅢB 生活支援技術A 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護実習ⅠA 介護実習ⅠB 介護実習Ⅱ 介護総合講座 介護予防支援学※ 認知症の理解Ⅱ※ 企業インターンシップ リラクゼーション 介護の基本ⅡA 日本文化事情Ⅰ(演習含む)
専	准教授	吉村 浩美 (56) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 発達と老化の理解Ⅱ 障害の理解Ⅱ こころとからだのしくみA こころとからだのしくみC こころとからだのしくみD 医療的ケアⅠ 医療的ケアⅢ 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 生活支援技術G 介護総合講座 介護実習ⅠA 介護実習ⅠB 介護実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専	准教授	武富 和美 (44) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 臨床栄養学 臨床栄養学実習 栄養学実習 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 日本語Ⅳ 栄養指導論実習Ⅱ 実践食育 給食管理実習Ⅰ 海外食文化研修 給食経営管理論
専	准教授	馬場 由美子 (47) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) ボランティア活動 介護過程Ⅱ 介護の基本ⅢB 生活支援技術A 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護実習ⅠA 介護実習ⅠB 介護実習Ⅱ 介護総合講座 介護予防支援学※ 認知症の理解Ⅱ 認知症の理解Ⅱ 企業インターンシップ リラクゼーション 介護の基本ⅡA 日本文化事情Ⅰ(演習含む)
専	准教授	吉村 浩美 (57) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 発達と老化の理解Ⅱ 障害の理解Ⅱ こころとからだのしくみA こころとからだのしくみC こころとからだのしくみD 医療的ケアⅠ 医療的ケアⅢ 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 生活支援技術G 介護総合講座 介護実習ⅠA 介護実習ⅠB 介護実習Ⅱ 介護予防支援学※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専	講師	立川 かおり (44) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 介護の基本ⅠA 介護の基本ⅠB コミュニケーション技術A 生活支援技術F 介護過程Ⅲ※ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習ⅠA 介護実習ⅠB 介護実習Ⅱ 介護総合講座
専	講師	小川 智子 (46) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ あすなろう体験 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 介護の基本ⅡB 生活支援技術B 生活支援技術C※ 介護過程Ⅰ 介護の基本ⅢA 介護総合講座 介護実習ⅠA 介護実習ⅠB 介護実習Ⅱ
専	講師	溝田 今日子 (60) 〈平成29年4月〉
		共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 地域生活支援演習Ⅰ 情報リテラシーⅠ(実習を含む) 情報リテラシーⅡ 情報リテラシーⅣ 応用プレゼンテーション演習
専	助教	尾道 香奈恵 (34) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ ボランティア活動 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 食文化コミュニケーション 食育演習 生活支援技術D 日本文化事情Ⅰ(演習含む)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専	講師	立川 かおり (44) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 介護の基本ⅠA 介護の基本ⅠB コミュニケーション技術A 生活支援技術F 介護過程Ⅲ※ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習ⅠA 介護実習ⅠB 介護実習Ⅱ 介護総合講座
専	講師	小川 智子 (46) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ あすなろう体験 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 介護の基本ⅡB 生活支援技術B 生活支援技術C※ 介護過程Ⅰ 介護の基本ⅢA 介護総合講座 介護実習ⅠA 介護実習ⅠB 介護実習Ⅱ
専	講師	溝田 今日子 (60) 〈平成29年4月〉
		共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 地域生活支援演習Ⅰ 情報リテラシーⅠ(実習を含む) 情報リテラシーⅡ 情報リテラシーⅣ 応用プレゼンテーション演習
専	助教	尾道 香奈恵 (34) 〈平成29年4月〉
		共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ ボランティア活動 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 食文化コミュニケーション 食育演習 生活支援技術D

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専	講師	立川 かおり (45) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 介護の基本ⅠA 介護の基本ⅠB コミュニケーション技術A 生活支援技術F 介護過程Ⅲ※ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習ⅠA 介護実習ⅠB 介護実習Ⅱ 介護総合講座 介護予防支援学※
専	講師	小川 智子 (47) 〈平成29年4月〉
		あすなろう 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ あすなろう体験 地域生活支援学 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 介護の基本ⅡB 生活支援技術B 生活支援技術C※ 介護過程Ⅰ 介護の基本ⅢA 介護総合講座 介護実習ⅠA 介護実習ⅠB 介護実習Ⅱ 介護予防支援学※
専	講師	溝田 今日子 (61) 〈平成29年4月〉
		共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ 地域生活支援演習Ⅰ 情報リテラシーⅠ(実習を含む) 情報リテラシーⅡ 情報リテラシーⅣ
専	助教	尾道 香奈恵 (35) 〈平成29年4月〉
		共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅰ 共に学ぶあすなろう(キャリア)Ⅱ ボランティア活動 地域生活支援演習Ⅰ 地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究) 食文化コミュニケーション

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
兼任	准教授	西田 明史 (41) 〈平成29年4月〉 健康スポーツ
兼任	准教授	占部 尊士 (43) 〈平成29年4月〉 障害の理解 I 社会の理解 I
兼任	講師	赤坂 久子 (63) 〈平成29年4月〉 認知症の理解 I 医療的ケア II 医療的ケア III
兼任	助教	山口 玲子 (44) 〈平成29年4月〉 認知症の理解 II ※ 介護の基本 II A
兼任	講師	古川 孝順 (75) 〈平成29年4月〉 地域生活支援学
兼任	講師	酒井 出 (58) 〈平成29年4月〉 社会学
兼任	講師	高尾 兼利 (61) 〈平成29年4月〉 発達と老化の理解 I
兼任	講師	眞田 英進 (69) 〈平成29年4月〉 人間心理学 こころとからだのしくみ B
兼任	講師	櫻井 琴音 (60) 〈平成29年4月〉 介護予防支援学 ※
兼任	講師	小松 洋平 (40) 〈平成29年4月〉 介護予防支援学 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専任	助教	MOHAMED NUR ANWAR (28) 〈平成29年10月〉 共に学ぶあすなろう(キャリア) I 地域生活支援演習 I 国際文化事情 I 英語検定 I
兼任	准教授	西田 明史 (41) 〈平成29年4月〉 健康スポーツ
兼任	准教授	占部 尊士 (43) 〈平成29年4月〉 障害の理解 I 社会の理解 I
兼任	講師	赤坂 久子 (63) 〈平成29年4月〉 認知症の理解 I 医療的ケア II 医療的ケア III
兼任	助教	山口 玲子 (44) 〈平成29年4月〉 認知症の理解 II ※
兼任	講師	古川 孝順 (75) 〈平成29年4月〉 地域生活支援学
兼任	講師	酒井 出 (58) 〈平成29年4月〉 社会学
兼任	講師	高尾 兼利 (61) 〈平成29年4月〉 発達と老化の理解 I
兼任	講師	眞田 英進 (70) 〈平成29年4月〉 人間心理学 こころとからだのしくみ B
兼任	講師	櫻井 琴音 (60) 〈平成29年4月〉 介護予防支援学 ※
兼任	講師	小松 洋平 (40) 〈平成29年4月〉 介護予防支援学 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専任	講師	高元 宗一郎 (41) 〈平成30年4月〉 地域生活支援演習 I 地域生活支援演習 II (卒業研究) プレゼンテーション概論 プレゼンテーション演習 応用プレゼンテーション演習 ボランティア活動
専任	助教	MOHAMED NUR ANWAR (29) 〈平成29年10月〉 地域生活支援演習 I 英語検定 I 地域生活支援学 地域生活支援演習 II (卒業研究) 国際文化事情 II 英会話 I 総合英語 I 総合英語 II 総合英語 III 英語検定 II
兼任	准教授	西田 明史 (42) 〈平成29年4月〉 健康スポーツ
兼任	准教授	占部 尊士 (44) 〈平成29年4月〉 障害の理解 I 社会の理解 I
兼任	講師	赤坂 久子 (64) 〈平成29年4月〉 認知症の理解 I 医療的ケア II 医療的ケア III
兼任	講師	高尾 兼利 (62) 〈平成29年4月〉 発達と老化の理解 I
兼任	講師	眞田 英進 (71) 〈平成29年4月〉 人間心理学 こころとからだのしくみ B
兼任	講師	櫻井 琴音 (61) 〈平成29年4月〉 介護予防支援学 ※
兼任	講師	小松 洋平 (41) 〈平成29年4月〉 介護予防支援学 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
兼任	講師	堤 惠理子 (58) 〈平成29年4月〉 生活支援技術C※
兼任	講師	廣瀬 由美子 (58) 〈平成29年4月〉 スイーツクリエイター基礎理論
兼任	講師	石田 蘭子 (81) 〈平成29年4月〉 給食経営管理論
兼任	講師	鶴 静子 (76) 〈平成29年4月〉 生活支援技術E
兼任	講師	森 恵美 (52) 〈平成29年4月〉 福祉レクリエーション論 福祉レクリエーション援助論 レクリエーション活動援助法Ⅰ レクリエーション活動援助法Ⅱ
兼任	講師	葛見 保子 (77) 〈平成29年4月〉 公衆衛生学 健康福祉概論
兼任	講師	白垣 伍男 (74) 〈平成29年4月〉 レクリエーション概論
兼任	講師	土井 眞信 (81) 〈平成29年4月〉 ボランティア入門
兼任	講師	中村 邦子 (73) 〈平成29年4月〉 公衆栄養学
兼任	講師	橋本 由美子 (57) 〈平成29年4月〉 創作料理実習 ホスピタリティ概論 おもてなし演習
兼任	講師	フィリップ ワグニツ (61) 〈平成29年4月〉 英会話Ⅰ
兼任	講師	溝西 亓 (77) 〈平成29年4月〉 解剖生理学
兼任	講師	永原 丞 (74) 〈平成29年4月〉 経済学
兼任	講師	本村 ゆかり (53) 〈平成29年4月〉 介護予防支援学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
兼任	講師	堤 惠理子 (58) 〈平成29年4月〉 生活支援技術C※
兼任	講師	廣瀬 由美子 (58) 〈平成29年4月〉 スイーツクリエイター基礎理論
兼任	講師	石田 蘭子 (82) 〈平成29年4月〉 給食経営管理論
兼任	講師	鶴 静子 (76) 〈平成29年4月〉 生活支援技術E
兼任	講師	森 恵美 (52) 〈平成29年4月〉 福祉レクリエーション論 福祉レクリエーション援助論 レクリエーション活動援助法Ⅰ レクリエーション活動援助法Ⅱ
兼任	講師	葛見 保子 (77) 〈平成29年4月〉 公衆衛生学 健康福祉概論
兼任	講師	白垣 伍男 (74) 〈平成29年4月〉 レクリエーション概論
兼任	講師	土井 眞信 (81) 〈平成29年4月〉 ボランティア入門
兼任	講師	中村 邦子 (73) 〈平成29年4月〉 公衆栄養学
兼任	講師	橋本 由美子 (57) 〈平成29年4月〉 創作料理実習
兼任	講師	橋口 淳二 (55) 〈平成30年4月〉 ホスピタリティ概論 おもてなし演習
兼任	講師	フィリップ ワグニツ (61) 〈平成29年4月〉 英会話Ⅰ
兼任	講師	溝西 亓 (77) 〈平成29年4月〉 解剖生理学
兼任	講師	永原 丞 (74) 〈平成29年4月〉 経済学
兼任	講師	本村 ゆかり (53) 〈平成29年4月〉 介護予防支援学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
兼任	講師	堤 惠理子 (59) 〈平成29年4月〉 生活支援技術C※
兼任	講師	廣瀬 由美子 (59) 〈平成29年4月〉 スイーツクリエイター基礎理論
兼任	講師	鶴 静子 (77) 〈平成29年4月〉 生活支援技術E
兼任	講師	森 恵美 (53) 〈平成29年4月〉 福祉レクリエーション論 福祉レクリエーション援助論 レクリエーション活動援助法Ⅰ レクリエーション活動援助法Ⅱ レクリエーション概論
兼任	講師	葛見 保子 (78) 〈平成29年4月〉 公衆衛生学 健康福祉概論
兼任	講師	土井 眞信 (82) 〈平成29年4月〉 ボランティア入門
兼任	講師	中村 邦子 (74) 〈平成29年4月〉 公衆栄養学
兼任	講師	橋本 由美子 (58) 〈平成29年4月〉 創作料理実習 ホスピタリティ概論 おもてなし演習
兼任	講師	フィリップ ワグニツ (62) 〈平成29年4月〉 英会話Ⅰ
兼任	講師	溝西 亓 (78) 〈平成29年4月〉 解剖生理学
兼任	講師	永原 丞 (75) 〈平成29年4月〉 経済学
兼任	講師	本村 ゆかり (54) 〈平成29年4月〉 介護予防支援学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
兼任	講師	久本 弥生 (45) 〈平成29年4月〉
		病態生理学 病態栄養学
兼任	講師	竹田 寿和 (73) 〈平成29年4月〉
		コミュニケーション技術B※
兼任	講師	中西 美枝子 (53) 〈平成29年4月〉
		介護過程Ⅲ※
兼任	講師	白水 峰子 (63) 〈平成29年4月〉
		介護過程Ⅲ※
兼任	講師	村岡 智紀 (41) 〈平成29年4月〉
		介護過程Ⅲ※
兼任	講師	下岡 睦 (45) 〈平成29年4月〉
		介護過程Ⅲ※
兼任	講師	吉村 理英 (45) 〈平成29年4月〉
		介護過程Ⅲ※
兼任	講師	久富 守 (72) 〈平成29年4月〉
		健康スポーツ理論 運動生理学
兼任	講師	宮島 優 (48) 〈平成29年4月〉
		介護予防支援学※
兼任	講師	香田 佳子 (52) 〈平成29年4月〉
		コミュニケーション技術B※
兼任	講師	鶴丸 征枝 (56) 〈平成29年4月〉
		医療的ケアⅢ
兼任	講師	三好 真奈美 (50) 〈平成29年4月〉
		医療的ケアⅢ
兼任	講師	橋本 正和 (67) 〈平成29年4月〉
		解剖生理学実験 食品衛生学実験
兼任	講師	松雪 容子 (46) 〈平成29年4月〉
		スイーツクリエイティブ基礎実習 スイーツクリエイティブ応用実習
兼任	講師	平 誠一 (40) 〈平成29年4月〉
		日本国憲法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
兼任	講師	久本 弥生 (45) 〈平成29年4月〉
		病態生理学 病態栄養学
兼任	講師	竹田 寿和 (73) 〈平成29年4月〉
		コミュニケーション技術B※
兼任	講師	中西 美枝子 (53) 〈平成29年4月〉
		介護過程Ⅲ※
兼任	講師	白水 峰子 (63) 〈平成29年4月〉
		介護過程Ⅲ※
兼任	講師	村岡 智紀 (41) 〈平成29年4月〉
		介護過程Ⅲ※
兼任	講師	下岡 睦 (45) 〈平成29年4月〉
		介護過程Ⅲ※
兼任	講師	吉村 理英 (45) 〈平成29年4月〉
		介護過程Ⅲ※
兼任	講師	久富 守 (72) 〈平成29年4月〉
		健康スポーツ理論 運動生理学
兼任	講師	宮島 優 (48) 〈平成29年4月〉
		介護予防支援学※
兼任	講師	香田 佳子 (52) 〈平成29年4月〉
		コミュニケーション技術B※
兼任	講師	鶴丸 征枝 (57) 〈平成29年4月〉
		医療的ケアⅢ
兼任	講師	三好 真奈美 (50) 〈平成29年4月〉
		医療的ケアⅢ
兼任	講師	橋本 正和 (67) 〈平成29年4月〉
		解剖生理学実験 食品衛生学実験
兼任	講師	松雪 容子 (47) 〈平成29年4月〉
		スイーツクリエイティブ基礎実習 スイーツクリエイティブ応用実習
兼任	講師	安藤 高行 (76) 〈平成29年4月〉
		日本国憲法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
兼任	講師	久本 弥生 (46) 〈平成29年4月〉
		病態生理学 病態栄養学
兼任	講師	竹田 寿和 (74) 〈平成29年4月〉
		コミュニケーション技術B※
兼任	講師	中西 美枝子 (54) 〈平成29年4月〉
		介護過程Ⅲ※
兼任	講師	白水 峰子 (64) 〈平成29年4月〉
		介護過程Ⅲ※
兼任	講師	村岡 智紀 (42) 〈平成29年4月〉
		介護過程Ⅲ※
兼任	講師	吉村 理英 (46) 〈平成29年4月〉
		介護過程Ⅲ※
兼任	講師	久富 守 (73) 〈平成29年4月〉
		健康スポーツ理論 運動生理学
兼任	講師	宮島 優 (49) 〈平成29年4月〉
		介護予防支援学※ 介護過程Ⅲ※
兼任	講師	香田 佳子 (53) 〈平成29年4月〉
		コミュニケーション技術B※
兼任	講師	三好 真奈美 (51) 〈平成29年4月〉
		医療的ケアⅢ
兼任	講師	橋本 正和 (68) 〈平成29年4月〉
		解剖生理学実験 食品衛生学実験
兼任	講師	松雪 容子 (48) 〈平成29年4月〉
		スイーツクリエイティブ基礎実習 スイーツクリエイティブ応用実習
兼任	講師	安藤 高行 (77) 〈平成29年4月〉
		日本国憲法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	安田 麻季代 (34) ＜平成29年4月＞
		ビジネスマナー(演習含む)
兼任	講師	浅岡 高子 (72) ＜平成29年4月＞
		日本語 I 日本語検定 I 日本語検定 II
兼任	講師	金 英子 (53) ＜平成29年4月＞
		中国語 韓国語 海外文化事情 I(演習含む)
兼任	講師	渡邊 訓甫 (71) ＜平成29年4月＞
		佐賀学
兼任	講師	大徳 朋子 (46) ＜平成29年4月＞
		ホスピタリティ心理学
兼任	講師	徳永 ヴェラ (37) ＜平成29年4月＞
		日本文化理解
兼任	講師	池田 剛 (60) ＜平成29年4月＞
		観光概論 観光ビジネス論
兼任	講師	久光 俊一 (61) ＜平成29年4月＞
		旅行業務
兼任	講師	小原 健史 (69) ＜平成29年4月＞
		ホテルビジネス論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	安田 麻季代 (34) ＜平成29年4月＞
		ビジネスマナー(演習含む)
兼任	講師	浅岡 高子 (72) ＜平成29年4月＞
		日本語 I 日本語検定 I 日本語検定 II
兼任	講師	金 英子 (53) ＜平成29年4月＞
		中国語 韓国語 海外文化事情 I(演習含む)
兼任	講師	渡邊 訓甫 (71) ＜平成29年4月＞
		佐賀学
兼任	講師	大徳 朋子 (46) ＜平成29年4月＞
		ホスピタリティ心理学
兼任	講師	徳永 ヴェラ (37) ＜平成29年4月＞
		日本文化理解
兼任	講師	池田 剛 (60) ＜平成29年4月＞
		観光概論 観光ビジネス論
兼任	講師	久光 俊一 (61) ＜平成29年4月＞
		旅行業務
兼任	講師	小原 健史 (69) ＜平成29年4月＞
		ホテルビジネス論
兼任	講師	田和瀬 修 (61) ＜平成29年4月＞
		共に学ぶあすなろう(キャリア I)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	安田 麻季代 (35) ＜平成29年4月＞
		ビジネスマナー(演習含む)
兼任	講師	浅岡 高子 (73) ＜平成29年4月＞
		日本語 I 日本語検定 I 日本語検定 II
兼任	講師	金 英子 (54) ＜平成29年4月＞
		中国語 韓国語 海外文化事情 I(演習含む)
兼任	講師	渡邊 訓甫 (72) ＜平成29年4月＞
		佐賀学
兼任	講師	大徳 朋子 (47) ＜平成29年4月＞
		ホスピタリティ心理学
兼任	講師	徳永 ヴェラ (38) ＜平成29年4月＞
		日本文化理解
兼任	講師	池田 剛 (61) ＜平成29年4月＞
		観光概論 観光ビジネス論
兼任	講師	久光 俊一 (62) ＜平成29年4月＞
		旅行業務
兼任	講師	小原 健史 (70) ＜平成29年4月＞
		ホテルビジネス論
兼任	講師	田和瀬 修 (62) ＜平成29年4月＞
		共に学ぶあすなろう(キャリア I)
兼任	講師	副島 順子 (64) ＜平成30年4月＞
		ライフステージ別栄養学 ライフステージ別栄養学実習
兼任	講師	久保 多恵子 (69) ＜平成30年4月＞
		食育演習 生活支援技術 D
兼任	講師	腹巻 由美子 (50) ＜平成30年4月＞
		共に学ぶあすなろう(キャリア I) 共に学ぶあすなろう(キャリア II)

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・平誠一兼任講師辞任により安藤高行兼任講師に変更。

【平成30年度】

- ・成清ヨシエ教授辞任により、西岡征子准教授が科目を担当。
- ・山口玲子助教（兼任）辞任により、馬場由美子准教授が科目を担当。
- ・古川孝順兼任講師辞任。複数教員での担当科目であるため他教員が科目を担当。
- ・酒井出兼任講師辞任。後任未定であるが、平成30年10月から兼任講師採用予定である。
- ・石田蘭子兼任講師辞任により、武富和美准教授が科目を担当。
- ・白垣伍男兼任講師辞任により、森恵美兼任講師が科目を担当。
- ・橋本由美子兼任講師復帰により、橋口淳二兼任講師退任。
- ・下岡睦兼任講師辞任により、宮島優兼任講師が科目を担当。
- ・鶴丸征枝兼任講師辞任。複数教員での担当科目であるため他教員が科目を担当。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
5	2
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
6	5	3	1	15	5	5	4	2	16	5	5	4	2	16
(6)	(5)	(3)	(1)	(15)						[]	[]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、
 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授 68歳 准教授 65歳 その他の教育職員 60歳 歳	4 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{15} = \boxed{106.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{4}{16} = \boxed{25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	成清 ヨシエ	選択	栄養指導論Ⅰ	①	H30.3.31付け一身上の都合のため辞任 (30)	
			選択	栄養指導論Ⅱ	①		
			選択	調理実習 (中国料理)	①		
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{15} = \boxed{6.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1			必修				
			選択				
			必修				
2			自由				
			必修				
			必修				
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修		科目	必修	科目	必修	科目
	選択		科目	選択	科目	選択	科目
	自由		科目	自由	科目	自由	科目
	計		0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

成清ヨシエ教授が、一身上の都合により辞任したが、担当科目について、同学科の専任教員が担当しているため、影響はない。学生への科目担当者変更は、後任の担当教員より初回の授業において周知を行った。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未 履 行 事 項 について の 実 施 計 画	
<p>設 置 時 (平成29年 5月)</p>	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。 (西九州大学短期大学部地域生活支援学科)</p>	<p>留意事項</p>	<p>学科設置後の現在、教育研究の継続性を踏まえて、今後順調な世代交代を達成するために、学識と教育経験豊富な幹部教員の継続的雇用とともにキャリア助手及び助教を積極的に採用雇用し、将来の学科運営と教育活動を牽引できる中堅、更には幹部教員へと育成していく人事計画を既に検討しており、当該学科組織活性化の推進を念頭に運営を行っている。特に、若手教員の育成には、地方創成に応える新設学科の人材養成教育に「グローバル性」と「ホスピタリティ性」という新たな教育要素を導入することを考慮すれば、学生の力を引き出し、自信を与えることができる能力、英語でコミュニケーションができる能力等を重視し、既に実務家教員、外国人教員の採用も考慮しながらバランスよい教員の年齢構成を考えての人事編成構想を具体的に計画している。(29)</p>	<p>未履行</p> <p>本学園における教員の定年は、教授68歳、准教授65歳、講師以下60歳（平成13年12月、学校法人永原学園教職員就業規則改正により、教育職員の定年は必要に応じて5年まで延長できる。）となっている。本学の専任教員には完成年度までに定年を超える者及び既に定年延長者が含まれているが、完成年度を迎えるまでは更に定年を延長するなどの措置を適用し、教育の質の保証と継続性及び雇用を確保する計画をしている。(29)</p>
<p>設 置 時 (平成29年 5月)</p>	<p>同一設置者が設置する既設学部等（健康福祉学部社会福祉学科、西九州大学短期大学部食物栄養学科、生活福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>未履行</p> <p>【西九州大学短期大学部】平成29年4月1日より、当該「食物栄養学科(栄養士養成)」と「生活福祉学科(介護福祉士養成)」を改組転換し、新設学科「地域生活支援学科」を本短大に設置(H28.4.26届出、収容定員:200名)した。栄養士、介護福祉士に、更に多文化に対応した教育課程を加え、地域の活性化と生活者支援に貢献できるマルチな人材育成を行うために、同3分野(コース制)横断的な履修が可能な新カリキュラムに一元化して新たな学生確保に努めている。 又、既存の食と介護の2学科及び新分野への改組に伴う、1学科運営の中での、新教育課程(及び3つの新ポリシー)と教育職員の効果的な連携活動を達成する為の教務及び人事を更に促進する計画を進めている。(29)</p>	<p>未履行</p> <p>【西九州大学短期大学部】当該食物栄養学科及び生活福祉学科については、現在の在籍学生が卒業した時点で廃止とする計画である。(H30.4.1 予定)(29)</p>

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
		<p>【健康福祉学部 社会福祉学科】</p> <p>(1) 学科改組、学科再編について検討 学科改組、学科再編のため ①現社会福祉学科改革ワーキンググループ（以下、WG）、②新学科構想WGの2体制の学科FDと2WG合同FDを毎月2回実施し、その結果を改組案としてまとめ学長に提出した。 ① 現社会福祉学科改革WG 本学科の魅力、特性を示すために、他福祉系大学の情報を分析し、新規性の資格を含め検討した。その結果、スクールソーシャルワーカーの育成、精神保健福祉分野の強化が重要であることが明らかとなった。 ② 新学科構想WG これまでの国際地域コースの教員を中心に情報収集や意見交換を通して「国際連携学科構想（案）」への新しい取り組みが必要であるとの認識から、国際連携新学科（案）創設のためのFDを継続実施した。(29)</p> <p>(2) 社会福祉士資格試験の合格率の上昇 福祉系大学をめざす高校生は、社会福祉士国家試験の合格率が高い大学を志望する傾向にあることから、同合格率を上げるため、学科内において本格的受験対策の開始時期を例年よりも早めた。さらに10月より毎月1回模擬試験を実施し、成績の下位者には、再試験を複数回実施した。その結果、社会福祉士では、前年度の合格率36.1%から40.0%に向上し過去最高の現役合格率となった。(29)</p> <p>(3) 高校訪問の回数の増加 これまでの6月の一斉訪問、9月の指定校推薦前の訪問に加えて2月の一般I期後にも高校訪問を実施した。(29)</p>	<p>【健康福祉学部 社会福祉学科】</p> <p>(1) 学科改組、学科再編について検討 学科改組、学科再編のため ①現社会福祉学科改革WG、②新学科構想WGの2体制の継続的審議から、学長に改革案を提出した。本改革案を実現するために、従来より本学科が主体的に取り組んできた地域貢献活動の実績を活かし、大学ブランディング事業として採択された介護予防、認知症予防に関する研究を継続実施し、魅力ある学科改組および学科再編に努める。(29)</p> <p>(2) 社会福祉士資格試験の合格率の上昇 社会福祉士の合格率を50%まで上昇させ、高校生にとってより魅力的な学科にする。(29)</p> <p>(3) 高大・他機関との連携強化 佐賀県高等学校教育研究福祉部会会長校、佐賀県社会福祉協議会および佐賀県老人福祉施設協議会や佐賀県知的障害者福祉協会等、佐賀県内外の学校機関や福祉機関との連携を強化し、共催で福祉イベント等を行うことで福祉系大学進学意識を高める。また、保護者と生徒が共に参加する企画を実施することで福祉の理解を更に深める。(29)</p>

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
		<p>(4) ぶちオープンキャンパスの実施 これまでの年3回行ってきたオープンキャンパスに加えて、高校生、保護者等の都合が良い日程に本学科を訪問してもらい、通常講義に出席したり、放課後の大学を知ってもらう等、学科の実情を理解してもらう機会を増やした。高校生の部活動等へも配慮することで、21時まで対応した。(29)</p> <p>(5) 高大連携の強化 佐賀県高等学校教育研究福祉部会会長の協力を得て、福祉科を設置する高等学校との協議を重ねより密接な高大連携の在り方について複数回検討した。(29)</p> <p>(6) 福祉フェスタの強化 佐賀県社会福祉協議会、佐賀県教育委員会、佐賀県高等学校教育研究福祉部会の協力を得て、これまで実施してきた福祉フェスタを更に強化し、120名を超える佐賀県内高校生の参加を得た。(29)</p> <p>(7) 学科報の発行回数の増加 従来年1回発行の学科報を年2回に増加し、高等学校以外にも県社会福祉協議会等の協力を得て、広く広報活動を展開した。(29)</p>	<p>(4) 広報活動の充実 これまで本学科が実施してきた特色ある活動、地域貢献活動、大学ブランディング事業、ぶちオープンキャンの実施、高大連携および福祉フェスタの強化、学科報をホームページ、フェイスブック等に掲載することで本学科の広報活動の充実を図る。(29)</p>
<p>設置計画履行状況 調査時 (平成30年 2月)</p>	<p>【西九州大学短期大学部】 地域生活支援学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。(西九州大学短期大学部地域生活支援学科)</p>	<p>【西九州大学短期大学部】 新設2年目を迎えて多文化生活支援コースのグローバル教育と多様な国際文化を体験学習できる新環境に魅力を感じた国内生と留学生の両志願と入学が僅かずつではあるが順調に進展している。又更に、福祉生活支援コースでは、当該国家資格(介護福祉士)取得を目指したアジア圏から多数の留学生入学者が得られ、学科総定員充足7割には未だ僅かに届かない結果ではあるが、改組新設した本学科の斬新な魅力が当該地域社会と志願者に確実に浸透しつつあると判断している。(30)</p>	<p>【西九州大学短期大学部】 本学科の異分野横断教育を趣旨とするコース制を活用した当該地域でのミドル専門職業人として“マルチに学びマルチに活躍”する実践社会人養成教育の特徴を受験生に直接伝える事を狙った学生募集戦略と併せ、高等教育機関としての今後の中期目標を企画委員会を中心に綿密に企画立案の上、戦略的計画に即して具体実施策を柔軟迅速に実動できるように、本学科の以後の順調な学生確保に臨んでいる。(30)</p>

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調査時 (平成30年 2月)	【健康福祉学部 社会福祉学科】 同一設置者が設置する既設学部等（健康福祉学部社会福祉学科、西九州大学短期大学部地域生活支援学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 (西九州大学短期大学部地域生活支援学科)	【健康福祉学部 社会福祉学科】 本学科における社会福祉士国家試験現役合格率の割合を昨年度の40.0%から75.0%に向上させ、九州私立大学1位の合格率は過去最高となった。また、高校訪問時の回数を増加させ、オープンキャンパスにおいても本学科の特徴を、学科報等の回数を増加させた。特に高大連携としての福祉フェスタについては、佐賀県高等学校教育研究福祉部会並びに佐賀県社会福祉協議会との共催を得て、多数の高校生に本学科の魅力を発信し、受験への動機づけを高めている。(30)	【健康福祉学部 社会福祉学科】 本学科が所属する健康福祉学部に加えて、他の保健医療関係学部との各部改組をも視野に入れた学部及び学科改組の検討を行う。さらに大学全体で取り組むブランディング事業をより具現化し、認知症高齢者へのマンパワー養成と具体的支援者のネットワーク化についても神崎市社会福祉協議会との連携を視野に入れて取り組む中で認知症介護予防に特化した特徴を打ち出す。加えて、佐賀県高等学校教育研究福祉部会、佐賀県及び神崎市社会福祉協議会との共催事業を通して福祉系大学進学への動機づけを高める。併せてより一層の応報活動について検討を進める。(30)

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<地域生活支援学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 教務委員会、FD委員会、授業評価専門部会を置き、教員の資質の維持向上を図っている。 ※委員会規程を添付</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会の開催：毎月 平成29年度構成(人数)：副学長(1)・教務部副部長(1)・学科長(2)・学科教員(4)・教務課長補佐(1) ・FD委員会・授業評価専門部会の開催： 平成28年 毎月(FD委員会)、4月、6月、7月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月(授業評価専門部会) 平成29年度構成(人数)：副学長(1)・教務部副部長(1)・学科長(2)・学科教員(3)・事務局次長(1)(FD委員会) 学科教員(4)(授業評価専門部会) <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 中期目標・中期計画に基づくアクションプログラムの29年度活動状況と30年度活動計画について 教育課程の編成、授業計画、学修到達目標、学修到達度の年度検証と改善について ・FD委員会・授業評価専門部会 中期目標・中期計画に基づくアクションプログラムの29年度活動状況と30年度活動計画について FD研修会の開催について 学生による授業評価の検証と評価、改善について 教育研究活動の活性化について <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) アクティブ・ラーニングの実践 2) 公開授業の在り方の再検討、大学教育の質保証・質的転換に向けた実践～到達能力の査定基準設定を考える 3) 大学教育の質保証・質的転換に向けた実践 学修成果の獲得向上に向けた授業のアクティブラーニング化～授業参観からの改善～ 大学教育の質保証・質的転換に向けた実践～到達能力の査定基準設定を考える(第2回) 4) 大学におけるリメディアル教育の可能性

5) 主体的・能動的学習を促す授業の作り方—はじめてみよう！アクティブラーニング—

6) ハラスメントの基礎知識と予防対策

b 実施方法

講演会及びワークショップ

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 1) 平成29年5月25日開催。大学専任教員(69名)、短大専任教員(10名)、職員(7名)、計86名
- 2) 平成29年6月29日開催。大学専任教員(53名)、短大専任教員(8名)、職員(4名) 計65名
- 3) 平成29年8月7日開催。短大専任教員(23名) 計23
- 4) 平成29年12月7日開催。大学専任教員(50名)、短大専任教員(10名)、職員(10名) 計70名
- 5) 平成30年2月6日開催。大学専任教員(9名)、短大専任教員(17名)、職員(3名)、計29名
- 6) 平成30年2月15日開催。大学専任教員(50名)、短大専任教員(11名)、職員(20名)、計81名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- 1) アクティブラーニングの導入意義の理解を深め、主義手法だけでなく学習成果への繋がり理解を深めるとともに、ディープアクティブラーニングへの導入意識を高めた。
- 2) 授業参観月間(6月、11月)を導入し、学習方法の共有及び改善を進めることができた。学修成果の可視化を通じた教育の質保証・質転換についての全学的理解を促進させるとともに、一定の実践成果を共有できた。加えて、教学運営におけるミドルのマネジメントへの意識強化がはかられた。
- 3) 学修成果の可視化を通じた教育の質保証・質転換についての全学的理解を促進させるとともに、一定の実践成果を共有できた。加えて、教学運営におけるミドルのマネジメントへの意識強化がはかられた。
- 4) 既存のリメディアル教育の推進及び拡大を図るための検討に向けた理解が深まった。
- 5) 協同学習のワークショップから得た、学習方法が次学期の授業展開で活用された。
- 6) ハラスメント研修は、毎年開催されており、ハラスメントの起こりうる環境などの理解を深め、予防への意識啓発が図られた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前学期と後学期のそれぞれに、中間(記述式、前期6月・後期11月)と各学期末にWebによる調査(選択式及び記述式、前期7月、後期1月)を1回実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員の集計結果について当該教員へポータルサイトにて周知するとともに、学生も閲覧できるよう「学生による授業評価アンケートに関する報告書」として、ホームページ及び図書館で公開。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

当該改組による新設学科の趣旨は、家政系分野(食と栄養及び生活と福祉(介護))と新規の社会科学系分野(国際文化・言語・観光・旅行・旅客・ホテル等第三次産業ビジネス)を融合した異分野横断による体系的教育と学修を可能とし、「マルチに学びマルチに活躍する」人材を養成し社会に輩出する事が目的である。この趣旨に沿って、学科根幹の必修科目である「地域生活支援学」及び「地域生活支援演習Ⅰ」と「地域生活支援演習Ⅱ(卒業研究)」は、3コース合同形態の各コース学生混在グループによるアクティブラーニング形態で学科全教員指導により開講実施できており、“地域”と“生活”と“支援”の本質基盤を理解させた上で、地域生活者の各ライフステージにマッチした食生活改善指導と福祉・介護活動及び多文化ダイバシティビジネスに対する専門的支援活動の為に知識と技術の修得が現在達成されつつあると評価している。又、各コースの学生が他コースの準専門的授業科目を跨り選択して履修できるように時間割を可能な限り工夫の上編成し分野横断学修の機会を提供できており、この点でも当初の目的が徐々に達成されつつあると評価できる。更に、当学科の特徴である斬新な学び場の提供としていたグローバルな環境創出に対しても、初年度から多様なアジア文化圏からの複数留学生を順調に迎える事ができ、特にH30年度においては更に多数(20数名)の専門職を目指した外国人学生の入学を得て、教員と学生共に国際色に溢れた活気のある雰囲気の中での授業展開ができており非常に評価できると判断している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・「西九州大学短期大学部点検・評価に関する規程」第8条に基づき、4年を超えない範囲で公表する。

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、ステークホルダー及び希望があった学生に各1冊を配付する。
- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成31年度に評価機関(一般財団法人短期大学基準協会)の認証評価を受けるため、企画委員会で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (有) ・ (無)

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年9月頃)

(注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。